

酒田・飽海 水稲直播情報

苗立ち確保対策号
令和6年4月11日発行

酒田農業技術普及課
酒田市若浜町1-40
TEL: 0234-22-6521
FAX: 0234-22-6522

鉄コーティング湛水直播栽培の

成功のポイントは、**適正な苗立ち本数と雑草対策**

本号は、4月下旬から始まる鉄コーティング湛水直播の「苗立ち確保対策」についてです。

○ 適正な苗立ちのための田面の仕上げ

- 湛水直播栽培の播種適期は4月29日～5月5日です。
- 播種時の理想的な田面の硬さは、播種された種子が田面に半分程度埋まって密着した状態になることです。
- 田面の硬さを調整するため、代かき後に、土壌に合わせて2～4日程度落水します。
- 播種時の圃場表面の停滞水はできるだけ排水します。ただし乾かしすぎると種子が吸水できずに苗立ちが遅れたり、その後の入水により水口付近の種子が移動してしまうことがあります。

圃場の硬さの目安は、
1mの高さからゴルフボールを落として半分埋まる程度



播種直後の圃場の様子



この状態がベスト！
表面に種子は見え、
少し埋まっている。

○ 播種時の注意点

- 「はえぬき」の鉄コーティング湛水点播の場合、乾糶播種量は4.5kg/10a程度とし、播種密度70株/坪、株当たり播種数7～9粒程度にします。苗立ち率70%の場合、必要な苗立ち数（100～120本/㎡）となります。播種量が多いと莖数過剰に陥りやすいため、注意が必要です。
- 密封式で取り組む場合は、開封すると発熱が始まるため注意が必要です。開封後、曇天の場合は2時間以内、晴天では1時間以内にすべて播種します。

○ 雑草対策

- 播種同時または播種直後に初期除草剤を散布した場合は、7日間止水後、5日間程度落水し出芽を促進させます。
- 落水期間は、圃場表面が乾かない程度とします。圃場表面が乾きそうな場合は、走り水を行います。
- 出芽確認後は浅水や間断灌水とし、イネ1葉期以降に初中期一発除草剤を散布します。
- 除草剤散布後は7日間湛水状態を保つ必要があります。その間に土壤の異常還元（ワキ）が進み、根の伸長が阻害されることがあります。ワキ予防のため、除草剤の散布前に水交換を行いましょう。



○ 生育初期～中期の水管理

- 一発除草剤散布後に7日間の止水（水深3~5cmの湛水）をした後は、中干しまでは浅水にして分けつを促進させましょう。
- 好天が続くと地温が上昇し、ワキの程度が強くなってきます。その場合は、水交換や夜間落水、2~3日程度の田干し等を行いましょう。表層剥離が見られた場合も同様の対応とします。
- 6月中下旬にかけて急激に茎数が増加し、茎数過剰となるケースが目立ちます。
移植栽培と同時期中干しも想定し、目標茎数の8割となったら直ちに作溝、中干しに入らましょう。



6月中旬の生育状況

春季農作業事故防止運動強化期間！ 4/10~6/10
あせらず作業を進め、事故の無いよう注意しましょう。

